

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (近畿)		百貨店（売場主任）	・株価の上昇に連動して、高額品の動きが良くなってきたことが、肌で感じられるようになっている。
		家電量販店（人事担当）	・寒くなることにより、暖房を中心に販売が伸びる。また、ビッグイベントはないが、4Kテレビへの買換えなども期待できる。
		乗用車販売店（販売担当）	・衆議院選挙が終わり、現政権の継続が決まったため、景気は良くなる。
		競輪場（職員）	・例年、年末年始は購買意欲が高まる傾向にある。
		その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・10月はプロ野球の試合がなく、来場者数は少なくなっているが、11～1月には多くのコンサートが開催されるので、集客増を予想している。
		商店街（代表者）	・年末商戦が始まることで、購買意欲が増す。
		一般小売店 [珈琲] （経営者）	・年末年始の需要に期待している。
		一般小売店 [鮮魚] （営業担当）	・ギフトやイベントに関する商品の受注が入っているため、売上増が見込まれる。
		一般小売店 [花]（店員）	・この先は、年末に向けて販売量が増える時期であり、祝日のイベントなどでの販売増が期待される。
		百貨店（営業担当）	・富裕層、インバウンドの好調な購買が継続する。企業業績の好調によるボーナスの伸びも期待できるため、ボリューム層の動きも回復する。
		百貨店（営業担当）	・先日の衆議院選挙も、スタート時は波乱含みの様子であったが、後半は安定路線へシフトした。世間的にも全体としては変わらず、安定した雰囲気漂っている。将来への不安感も緩み、消費も引締め感が薄らいだイメージである。財政の黒字化が先延ばしとなり、まだ大丈夫だという印象が広がっていると感じる。
		百貨店（営業担当）	・昨今の株価の上昇もあり、高級ブランド品は優良顧客の更なる購入で伸びていく。
		百貨店（売場マネージャー）	・衆議院選挙も終わったが、株価は安定しており、ボーナス支給も前年を上回ると思われるため、これからの年末年始の商戦にかなり期待している。
		百貨店（販促担当）	・衆議院選挙での与党の大勝により、株価がますます上昇している。景気に対する世間の期待値も高まり、年末商戦には期待できる。前月の後半から今月にかけては、浮ついた感じではなく、気温の低下に伴って消費が上向いている。特に、衣料品の購買周期が良い傾向となるなど、年間最大のクリスマス商戦に向けて、良い流れになってきている。
		百貨店（サービス担当）	・来月から、創業記念の催事や新規の催事が開催され、来客数の増加によって売上が確保できそうである。ただし、10月の台風などによる農作物への影響で、食料品などの価格高騰が懸念される。
	百貨店（営業企画）	・衆議院選挙が順当な結果となり、株価も力強く上昇している。全国的に明るい材料が増えており、希望的観測として、地方や郊外にも消費の力強さが広がる。	
	百貨店（外商担当）	・株価の上昇が続いていることで、富裕層による高額商品の消費が上向く。また、インバウンド売上も好調に推移していく。	
	百貨店（マネージャー）	・衆議院選挙での与党の大勝により、現在の経済政策が維持され、株価も上昇している。この結果、百貨店の中心顧客である富裕層の消費意欲は、ますます旺盛になると予測している。企業業績の向上による賃金の上昇が、中間層の消費にプラスとなるほか、冬らしい気候となる予報から、衣料品や家庭用品などの冬物商品が堅調に動くことを期待している。	
	百貨店（マネージャー）	・衆議院選挙も予想どおりに与党が圧勝し、諸々の意見はあるものの、政権の安定に対する安心感が広がったことは好調の大きな要因である。また、秋以降は国内消費に底堅さがみられるとともに、訪日外国人売上が日用品から再び高額品にシフトしている面もあり、引き続き期待できる。	
	スーパー（経営者）	・台風の影響により、農産品の単価が前年の水準に近づいている。前年は野菜相場が高過ぎて、鍋物需要が伸び悩んだが、今年は冷え込みが早いこともあって順調に推移し、肉や魚、つゆ、スープ需要なども高まる。また、株高の年は少し高価な食材が伸びるため、北朝鮮などの地政学リスクが高まらず、良くなることを期待したい。	

スーパー（企画担当）	・気温が下がることで、本格的に冬物商材が動き出す。ボジョレーヌーヴォーの解禁や催事での販売も伸びやすく、客単価も高くなる。もちろん年末商戦に向けて販促の強度を上げ、前年実績のクリアは必達のもりで取り組む。
コンビニ（経営者）	・近隣のホテルが11月初旬からオープンし、ホテルの利用客による来店が増える。
コンビニ（経営者）	・イトインコーナーの利用率は引き続き高く、おでんなどのファーストフードやコーヒー類の売上が高水準を維持することが期待される。また、プレミアム商品の売上増による、客単価の上昇にも期待できる。
コンビニ（店員）	・年末に向けて、販売促進に力を入れていく。
コンビニ（広告担当）	・消費者の収入増に直結するような施策が実行され、景気が良くなってほしい。
コンビニ（店員）	・年末、ボーナスシーズンになるので、プラス1品の購入が期待できる。
衣料品専門店（営業・販売担当）	・オーダースーツなどの販売単価が上がっている。また、もう1着、もう1点といった追加購入も増えている。
家電量販店（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要が始まりつつある。
乗用車販売店（経営者）	・衆議院選挙で与党が安定多数を確保できたことで、上向きの雰囲気が出てくる。
乗用車販売店（営業担当）	・冬にかけて自動車業界はモデルチェンジの時期になるため、来客数の増加が見込まれる。
高級レストラン（スタッフ）	・1年で最も忙しい、クリスマスと年末シーズンに入る。
一般レストラン（経営者）	・年末商戦に入る時期であるが、いつもとは違う商品やサービスを提供するほか、宣伝の強化とともに営業力の強化を目指す。
その他飲食【ファーストフード】（店員）	・気温が落ち着いてきたので、来客数が安定する。
観光型ホテル（経営者）	・東京オリンピックに向けた動きが活発になってきたため、その影響が多少はある。
観光型旅館（管理担当）	・衆議院選挙の結果により、当面はお祝儀の意味も含めて、若干上向きになる。
観光型旅館（団体役員）	・秋冬にかけての商品開発も活発であり、今月の落ち込みの反動増が期待される。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊は地域全体で好調のため、悪化することはない。宴会も忘年会、新年会の新規問い合わせが増えているほか、定例の利用客には、単価の上げを検討する動きもみられる。
都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会、新年会共に、例年並みの注文が入っている。宿泊部門は年末年始の宿泊プランも好調で、単価のアップが期待できる。
旅行代理店（役員）	・衆議院選挙も終わり、不安定な海外情勢が日常化してくれば、ポイントの積算によって客の旅行需要が高まる。
タクシー運転手	・汗をかかずに歩き回れる季節となるが、相変わらず神戸港の開港150周年イベントで人出があるほか、飲みに行く機会も増えるため、多少は上向きになる。
通信会社（社員）	・9月から新たなサービスプランを導入しており、その成果が10月以降に反映されるため、少しは期待できる。
通信会社（企画担当）	・人気を集めているゲーム機の影響で、市場が拡大する。
遊園地（経営者）	・10月中旬以降は週末の天候不良が続き、直近の業績は非常に厳しい。ただし、消費マインドが大きく減退している様子はないため、外部要因が整えば、反動増が期待できる。
その他レジャー施設【イベントホール】（職員）	・2～3か月先の予約状況は、前年よりもやや上向いているため、多少は良くなる。
美容室（店員）	・2か月先の年末に向けた、予約の動きが増えている。
住宅販売会社（経営者）	・今の様子をみていると、しばらくは良い状態が続くそうである。
住宅販売会社（総務担当）	・受注量の増加要因として、交通、立地条件の良い分譲地が出てきたこともあるが、特に建て売り住宅など、不動産が好調である。
その他住宅【住宅設備】（営業担当）	・年末に向けて、仕事量が増える。
商店街（代表者）	・ここ2年ほどは様子に変化がない。今後も同じような状況が続く。
一般小売店【衣服】（経営者）	・冬物衣料の立ち上がり時期に、それほど動きがないため、数か月先も期待できない。来店した消費者にも、これから先の経済に明るい希望を持っているような声は少ない。むしろ、期待できないとの声がちらほら聞かれるため、この先の景気も上向きになるとは思えない。

一般小売店〔野菜〕 (店長)	・衆議院選挙で与党が大勝し、株価は上昇傾向を維持しているが、実体経済はそれほど良くない。当店も今年で閉店する。
一般小売店〔菓子〕 (営業担当)	・前月と同様に販売量の動きが悪く、横ばい状態である。新製品の導入による売上増を期待している。
百貨店(売場主任)	・競合店への客の集中が進んでおり、早期の対策が必要であるが、しばらくは強い競合先の施策を見極める。ただし、当社は大掛かりな施策を抑えているため、景気が上向くような流れは期待できない。
百貨店(売場主任)	・冬物衣料のほか、ギフトシーズンに伴う購入の動きは、しばらく続く。
百貨店(売場主任)	・インバウンドの需要はしばらく好調が続くそうであるが、現状は株価が上昇しているものの、国内客の消費に大きな変化はない。結果として、百貨店は都心部の好調が続く一方、地方の苦戦も続くことになる。全体的には従来と大きな変化はなく、北朝鮮問題が一番の不安定要素である。
百貨店(企画担当)	・売上の増加が続いている大きな要因は、外国人売上の急増である。この傾向は前年の12月頃から始まったほか、更に今年の7月頃から来客数、客単価の改善が加速したため、当面は今月と同じく堅調に推移する。
百貨店(服飾品担当)	・秋から冬に向けて気温が変化しているが、重衣料のトレンドははっきりしない。コートやブーツ商戦がどの程度の動きとなるのかは、来月前半にみえてくるが、汎用性の高い商材の動きは悪くないと思われる。一方、美容関連は、スキンケアを中心に乾燥肌対応の需要が伸びてくると予測され、大型の新商材の発表もあることから、現状の売行きを維持することができる。
百貨店(マネージャー)	・個人消費の大幅な改善は見込めない。企業利益や株価は好調でも、個人所得が伸びないほか、着実に進む高齢化による将来不安などで、消費意欲が高まらない状況が続くため、当分は小康状態となる。今後、消費税増税の問題も現実となるため、様子見の状態が続く。
百貨店(商品担当)	・衆議院選挙での与党の大勝で、株価が堅調な水準を維持しており、消費の大崩れは当面ないと思われる。ただし、好調が一巡する外国人観光客の免税売上は、今後の動きを予測しにくく、不安材料として常に上がっている。
百貨店(役員)	・都市部と地方の格差は、いろいろな面で縮まらない。
百貨店(宣伝担当)	・北朝鮮問題で懸念された、インバウンド売上の減少も現時点ではみられず、引き続き伸びている。株高が続き、天候要因などで大きな悪影響を受けなければ、来月以降も安定した売上が見込める。
スーパー(経営者)	・トータルとして景気は緩やかに回復していると思うが、客層の2極化や格差の広がりを感じる。
スーパー(店長)	・政権の安定による株高で富裕層が潤っているほか、関西ではインバウンド需要も高く、百貨店は好調である。一方、スーパーは同業者のほか、コンビニやドラッグストア、通販といった異業種との競争が激しい。市場が縮小傾向にあるなか、今後も更に厳しい競争が続くと予想される。
スーパー(店長)	・現状が非常に厳しい状況のため、今後も回復は望めそうにない。
スーパー(店長)	・ここ数か月は同じ傾向が続いているので、良くなるようには思えない。来春にスーパーがもう1店舗、当店から800メートルの場所にオープンするため、更に厳しくなる。
スーパー(店長)	・今買い控えがあったとしても、年末年始に消費が増えるわけではなく、例年並みにとどまる。
スーパー(企画担当)	・来客数は変わっておらず、気温の動向にも変化がない。
スーパー(経理担当)	・年間の売上のピークである年末年始に向け、足元の消費がそれほど悪いとは思わない。節約する時は節約し、クリスマスから正月のハレの日にはぜいたくをすすむといったスタイルが定着しつつあり、今年もその傾向が更に強まる。
スーパー(開発担当)	・特別な景気対策はなく、関西の中小企業が奮い上げるわけでもないため、今後も景気の回復感には広がらない。
スーパー(管理担当)	・消費税率引上げの直前までは、現状の動きが続く。
コンビニ(店長)	・おでんなどの冬用商材の増加には、あまり期待できない。
コンビニ(店員)	・来客数、売上共に、大きな変化は期待できない。
衣料品専門店(販売担当)	・客の様子をみていると、ランチで外食する人よりも、コンビニなどでテイクアウトしている人の方が多い。今後もこの状況が続く。
家電量販店(経営者)	・所得が増えるか、将来不安が減るような施策がない限り、景況感には変わらない。

乗用車販売店（経営者）	・特に悪くなる要素もないが、先の予約も入っていないため、好転することはない。
乗用車販売店（経営者）	・国内は、衆議院選挙後の混乱が年末までは収まらない。また、ここへきて自動車メーカーの不正検査問題や、大手鉄鋼メーカーの品質データ改ざん問題が出てきて、日本の製造業の信用を失いかねない。影響はしばらく続くと思われるため、これでは消費は刺激されない。
乗用車販売店（経営者）	・車検の申込や、新車の販売予約が少ないほか、自動車メーカーの不正検査問題への対応に忙しくなる。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・少しずつ株価は上がっているが、所得が増えている感覚はない。同一の品質、機能であれば、客は単価の安い商品へと動く。
その他専門店〔宝石〕（経営者）	・景気の動向は、為替と株価の変動に左右される。海外からの何らかの影響がない限り、今のままで推移し、良い状態で年末を迎えることができる。
その他専門店〔食品〕（経営者）	・販売量は以前に比べると下げ止まりつつあるが、価格競争による低価格化やデフレ傾向は、相変わらず進んでいる。
高級レストラン（企画）	・低単価帯の客によるレストランの利用が伸び悩む一方で、企業の宴会や宿泊の受注は伸びている。
一般レストラン（経営者）	・以前は、年末にも商店街に人通りはあったが、近隣に大型ショッピングセンターがオープンし、人はそちらに流れることが予想される。
一般レストラン（経理担当）	・内閣改造後、すぐに解散し衆議院選挙が行われたため、景気回復の遅れにつながる。
一般レストラン（企画）	・一般的な個人消費者が、景気の改善を実感できる材料が見当たらない。また、天候不順や気温の低下予想といった外的要因も、プラスとはいえない。
一般レストラン（店員）	・今後良くなる見込みが全くない。
その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・良くなる兆しが見当たらない。この数年は、景気が回復しているようには感じられない。
観光型ホテル（経営者）	・衆議院選挙が終わり、新しい内閣がどのような経済政策を実施するのが問題である。消費者に恩恵があるような政策が取れない限り、そう簡単に景気は上向かない。それだけに、一般消費者が豊かになるような政策に期待したい。
観光型ホテル（経営者）	・11～12月も先行きの予約状況は良いが、団体客によるキャンセルが発生すると、空室を埋めるのが難しい。結果的には前年並みか、それを下回る可能性が高い。
都市型ホテル（支配人）	・今月に入り、週末は異常気象や大型の台風襲来により、各地に甚大な被害が出ている。今後しばらくは復旧や復興に時間がかかりそうであり、宴会、宿泊のキャンセルもかなり出ている。
都市型ホテル（管理担当）	・今後、個人客の勢いがどのように推移するかで変わってくる。しばらくは、このままの状態でも推移しそうであるが、不安は残る。
都市型ホテル（総務担当）	・宿泊の今後3か月の予約状況は、ほぼ前年並みであるが、宴会部門の予約状況は芳しくない。全体としては、今月のような状況で推移する。
都市型ホテル（管理担当）	・国内客の需要には、まだ力強さがみられない。
旅行代理店（営業担当）	・経済環境の変化が、個人消費の拡大につながっていない。
旅行代理店（支店長）	・衆議院選挙が終わり、未来へ向けた気持ちの切替えが進み、娯楽に対しても消費マインドが戻ることを期待される。ただし、消費税増税への不安もあるなかで、景気回復や株価の上昇といった話は、消費者の実感とは程遠いため、現状のまま大きくは変わらない。
タクシー運転手	・タクシーの利用は前年よりも10%ほど増えており、今後もこの程度の需要は見込まれる。大阪は観光都市でもあり、飲食関連の需要が強いが、文化財などと違って成長期待が高い。
タクシー運転手	・法人や一般客、予約関係の動きにも、大きな増減はない。
通信会社（経営者）	・中小企業には、特に株価上昇などの影響はみられない。
テーマパーク（職員）	・衆議院選挙も終わったので、経済政策に大きな変更はなさそうであるが、それは相変わらず景気の刺激策もないことを意味する。また、年末年始が危ないと指摘されている北朝鮮の有事が、国内経済にどのような影響を与えるのが不安である。
競艇場（職員）	・全国発売を実施しているスペシャルグレード、G1競走の売上には、大きな変化がみられない。

	その他レジャー施設 〔飲食・物販系滞在型 施設〕(企画担当)	・株価は上昇局面にあるが、一般的なレジャー消費に対しては、特に期待できる要素はない。
	美容室(店員)	・今のところ、パーマやカラーなどの高額メニューの動きは継続している。
	その他サービス〔ビデオ・CDレンタル〕 (エリア担当)	・ブックカフェなどで客を呼び、レンタルや販売面の不振アイテムの売上アップを目指すという方向性に変化はない。
	住宅販売会社(経営者)	・市内中心部の地価が高水準で推移し、取引も引き続き好調である。比較的良い状況にあると感じているが、更に景気が良くなるとは考えにくい。逆に、ある種のパブルがいつ萎んでいくのが心配である。
	住宅販売会社(従業員)	・新築マンションの販売価格の上昇に伴い、販売状況は悪化しているが、体力のあるデベロッパーが多い。資金回収を急ぐ必要はないことから、大きな値崩れが起きる状況ではない。
	その他住宅〔展示場〕 (従業員)	・新築住宅には政府の需要喚起策もないため、しばらくは様子見の状態が続く。今後の消費税増税の動向次第で、一時的に良くなることはある。
	その他住宅〔情報誌〕 (編集者)	・市場の2極化がますます進んでいる。一般のサラリーマンを中心とした1次取得層の購買力が変わらない一方、マンションは高額化し、需要は一部の富裕層に支えられている。決して、全体的な景気回復がみられるわけではない。
	一般小売店〔時計〕 (経営者)	・今年は近隣の大型商業施設だけで4店舗がオープンしており、中規模の施設を含めるともっと多くなる。こういった商業施設は、年末年始に向けてイベントを一斉に行うため、客足の確保が難しくなる。他社によるキャッシュバックやポイント還元などの販促に取り残される懸念があり、期待できない。
	一般小売店〔精肉〕 (管理担当)	・全国的に、雨や台風による影響が出てくる。野菜や果物のほか、特に米は収穫期であり、大きな影響を受けたのではないかと。年末の最需要期に物価が高騰することで、購買にも影響が出そうである。
	百貨店(販売推進担当)	・前年の11月までは、来客数や客単価、売上が極めて不振であったことから、この11月までの前年比の好調は当然である。2~3か月先の景気は、12月以降の顧客動員策に左右され、気候的には好条件となる予測であるが、油断は禁物である。
	スーパー(店長)	・人口の減少が進み、商圈も狭くなっていく。
	スーパー(店員)	・長雨と台風で野菜の値段が上がり、数量もそれほど入ってこないため、今後は厳しくなる。
	スーパー(社員)	・今夏までは、催事やチラシによる来店効果がみられ、多くの客の来店につながっていた。秋になって、来客数がやや鈍っているほか、競合店の増加が予定されているため、厳しい見通しである。
	スーパー(企画)	・今の傾向は、相場や環境が改善しない限り、年明け以降まで続く。
	衣料品専門店(経営者)	・円安の進行により、様々な商品の価格上昇が予想されるため、個人消費の落ち込みが徐々に進む。
	家電量販店(企画担当)	・大雨や台風21号などによる被害が、西日本を中心に広がっている。それに対する備えに国民の意識が集まり、消費の喚起は進まない。
	住関連専門店(店長)	・案件の内容が良くない。破格に安い予算であったり、予算を意識するあまり、本当に欲しい物とは全く違う商品を、我慢して買う客が当たり前になってきた。さらに、納期を急ぐ一方で、追加費用は払わないという客も増えている。
	その他専門店〔宝飾品〕(販売担当)	・当店の顧客は、今回の衆議院選挙で争点となった教育無償化の恩恵を受ける世代ではないため、特に影響はない。ただし、催事を行う地域によっては、台風などの災害の影響で販売が落ちる。
	都市型ホテル(客室担当)	・客は実際に予約を入れるため、現時点では12月と1月の予約は、前年比でマイナスとなっている。訪日外国人の宿泊も、今までどおりの動きとなるかは不透明である。
	旅行代理店(店長)	・世の中に対する不安で、旅行の動きが止まっているのではないかと感じる。
	その他サービス〔学習塾〕(スタッフ)	・生徒数の増減があるとすれば、2~3月にかけて動きが出てくる。
x	衣料品専門店(経営者)	・今月に売れていなければ、良い商品が入ってこないため、今後は悪くなる。

企業 動向 関連  (近畿)	木材木製品製造業（経営者）	・急激な供給量の増加で資金が不足し、一時停滞しているが、改善計画もできているので、2～3か月後にはよりスムーズに事業が進む。
	食料品製造業（営業担当）	・年末年始に向けて、クリスマスや正月商品が売れてくる時期となるため、良くなる。
	化学工業（経営者）	・ここ3か月は落ち込み幅が少しずつ改善し、増収に向かい始めている。例年、年度末に向けて売上が増える時期となるため、この流れに期待している。
	化学工業（企画担当）	・原料価格の高騰が懸念されるが、年末年始の販売量は増加が予想される。
	化学工業（管理担当）	・人材の確保が困難になっており、賃金の上昇が進むと思われるため、景気は良くなる。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・新規商品の売行き次第であるが、これまでの流れをみても、現状のままで推移する。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が伸びているため、わずかであるが期待できる。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・引き合い件数が増加するなかで、海外からの引き合いも徐々に増える傾向にある。いかに受注につなげるかが、今後の課題である。
	その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	・新商品を多く出しているほか、年末年始になるため、良くなると期待している。
	建設業（経営者）	・台風により、建物が相当な被害を受けた。今後しばらくは修繕工事や改修工事の増加が見込まれる。
	輸送業（営業担当）	・運賃を値上げしたが、荷物の量はまだ減っておらず、来月から減る見込みである。
	輸送業（商品管理担当）	・お歳暮のシーズンとなり、お正月やクリスマスで売上が伸びる。
	金融業（営業担当）	・衆議院選挙も与党の大勝で幕を閉じたため、景気回復を期待したい。
	広告代理店（営業担当）	・下半期になって、売上也良くなってきている。
	広告代理店（企画担当）	・大手企業しか賃上げが進んでいなかったが、景気回復が続いており、中小企業でも賃金アップが進む。その結果、個人消費が若干上向いてくる。
	コピーサービス業（店長）	・問い合わせ件数に増加がみられるため、現状よりも若干の回復が見込まれる。
	食料品製造業（従業員）	・業界全体でも、製品の出荷が伸びているという話は聞かれない。現状は主力製品の値下げ販売が当たり前の状況であり、大きな伸びは期待できない。目立った動きがありそうな新製品も見当たらない。
	繊維工業（総務担当）	・客の参加意欲が高まるような催事にする必要がある。魅力のない催事に人は集まらない。
	繊維工業（団体職員）	・今月の生産量は前年比で微増であるが、生産の前倒しの感もあるため、年末までの動向が注視される。
	繊維工業（総務担当）	・靴下の市況は、一般的な景気とは異なり、前年よりも悪化している状況が続いている。過去のまとめ買いによる、たんす在庫で十分との判断が働いている。
	家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・受注量には変化がない。
	金属製品製造業（経営者）	・景気はやや良い状態で、大きな不安はない。
	一般機械器具製造業（経営者）	・1件当たりの受注金額は大きいものの、納期が長く、全体としては景気に敏感に動くわけではない。今のところは、良くもなく悪くもないという状況である。
	一般機械器具製造業（設計担当）	・衆議院選挙での与党の過半数確保により、政権が維持できそうであり、株価は上昇しているが、一般的に景気が良くなったという実感はない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・政権は目先の景気を上げようと一生懸命であるが、不公平で無駄が多い。政治の影響が強く、経済の足を引っ張ることを懸念している。
	電気機械器具製造業（経営者）	・景気が良くなる傾向はあるが、一本調子で良くなる感覚はない。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・来月は少し仕事が入ってくる予定がある。
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・景気が良くなる要因が見当たらない。
	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・現政権が衆議院選挙によって信認を得た形にはなるが、景気回復の実感は乏しく、アベノミクスの恩恵を感じることができない。
	建設業（経営者）	・今後も監理技術者、技能労務者不足のなかで、激しい価格競争が続く。

	建設業（経営者）	・この状況が年末まで続くと思う。ただし、人手不足によって、受注に対応しきれない懸念もある。
	輸送業（営業担当）	・今の営業方法を変えなければ、客が減少する。
	輸送業（営業所長）	・路線や宅配の各運賃は値上げ傾向にあるが、一般貨物や貸切り貨物はまだまだ先行きが不明である。
	金融業〔投資運用業〕（代表）	・株価の連騰などで、景気浮揚の兆しも見え隠れするが、相変わらず北朝鮮の地政学的リスクは残っている。
	金融業（副支店長）	・衆議院選挙では与党が勝ったものの、景気対策を進めていくピッチが急に早くなるとは思えない。
	不動産業（営業担当）	・これからも神戸から企業の撤退が続いていくため、景気は横ばいの動きが続く。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新規購読を獲得しても、それ以上に購読をやめる読者が増えている。折込件数も良くないままで、上向く気配がなく、辛うじて現状を維持している。
	司法書士	・企業の設立や増資といった動きもなく、案件自体が少ないなど、好材料が見当たらない。
	経営コンサルタント	・価格が全てというクライアントが多く、競争は更に厳しくなるため、見通しは明るくない。株価は上がっているが、景気の実態とは異なる動きとなっている。
	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・衆議院選挙では与党が圧勝したことで、体制に大きな変化はなく、北朝鮮への圧力をますます強めていくことになる。どうやら、関西で景気浮揚を実感することはなさそうである。
	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・受注や予算の見積、それ以外の仕事もあまり変わらず、そのままの状態である。
	食品品製造業（経理担当）	・大手企業の不正が表面化しており、中小企業にも不信の目が向けられてきそうて、不安である。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・毎年、年末や年度末は受注量も増えてくるが、現時点では大きな受注はみられない。特需も見込めず、前年よりも悪化傾向にある。
	通信業（管理担当）	・ボーナス商戦までのしばらくの間、景気は買い控えて冷え込む。
	広告代理店（営業担当）	・この先は、広告出稿について良い材料がみられない。
	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・これから先も、忙しくなる要素がない。
×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・経済の今後の展望が見通せない。
×	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・ターゲットとする業界の見直しや選定作業が遅々として進まず、2～3か月では結果も出ない。
雇用 関連 (近畿)	-	-
	人材派遣会社（役員）	・新たな求職者の出現のほか、人手不足によって企業の採用基準が緩和されていることで、労働市場の拡大が見込まれる。
	人材派遣会社（営業担当）	・年末年始に向け、繁忙対策などで臨時的求人ニーズが増える。
	人材派遣会社（支店長）	・与党の圧勝により、今後も現在の流れは変わらない。
	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・特定の業種とはいえ、一部の労働集約型業種では求人数が増えており、明らかに人手不足となっている。これは、景気がやや上向いている可能性を示している。今後、ほかの業種にも広がれば、株価の連騰や、米国を含めた世界経済が好調であることから、北朝鮮の暴発でもない限り、景気の良くなる日は近い。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西の地場企業からの宣伝や求人の動きが、年末にかけて上向きになる見込みである。
	職業安定所（職員）	・受注や業績が好調との声が多く聞かれる。事業所から今後の展望を聞いたところ、やや明るいとの声が全体の3割強を占めている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末や年度末の繁忙期に向けた、増員の動きが見込まれる。
	人材派遣会社（経営者）	・IT関係の動きが非常に鈍く、関西経済の足を引っ張っている。衆議院選挙が与党の圧勝となり、経済の状況は上向くが、景気が良くなるかどうかのポイントは、期間の長さに関係なく、人材が紹介できるかにかかっている。現状は人手不足のため、企業の業況がそれほど良くなるとは思えない。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・関西、大阪では、インパウンドの観光客が増加しており、それに対応した業種の動きが活発化している。ただし、全体の景気が高まっているかどうかは実感がない。

	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数の増加が今後も続くと思われるが、一方で9月30日に実施された最低賃金の引上げについて、企業からは厳しい声が聞かれる。例えば、ここ数年の急激な最低賃金の上昇が大変厳しく、新規採用者の賃金を上げれば、既存のパート、契約社員、正社員の賃金も上げなければ不満が出る。扶養控除を受けられる範囲での就労を希望するパートが、労働時間の調整を行い、人手不足に拍車がかかっているといった声も多く聞かれる。人手不足が進んでおり、今後は人件費を上げる体力のある企業と、体力のない企業の格差が広がっていく。</li> </ul>
	職業安定所（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のところは大きな動きもないが、大手鉄鋼メーカーの品質データ改ざん問題の影響が懸念される。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（職員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設日雇求人では、社会保険加入の義務化と雇用保険適用の厳格化の影響で、現場の混乱と雇用の抑制が続いている。また、事業所からは、人手不足で新規事業に手が出せないとの声が寄せられている。</li> </ul>
	民間職業紹介機関（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状が既に良いため、これ以上良くなるとは考えにくく、逆に悪くなる理由も見当たらない。</li> </ul>
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衆議院選挙後の景気対策次第である。</li> </ul>
	アウトソーシング企業（管理担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年入ってくる仕事が、今年はなくなるかもしれないため、今後は悪くなる。</li> </ul>
	学校 [ 大学 ]（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求人数は伸びているが、採用が一段落した後に景気が悪化することを考え、企業も採用数を減らし始めそうである。</li> </ul>
x	-	-